



平成 19 年 11 月 20 日

各 位

会 社 名 アールビバン株 式 会 社  
代表者名 代表取締役社長 野澤 克巳  
問合せ先 総務部総務グループ 柴田 航  
電話番号 03 - 5159 - 7177  
(コード番号 7523 JASDAQ )

## 平成 20 年 3 月期通期業績予想の修正に関するお知らせ

平成 19 年 5 月 22 日に公表いたしました平成 20 年 3 月期(平成 19 年 4 月 1 日～平成 20 年 3 月 31 日)の通期業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

### 記

#### 1. 平成 20 年 3 月期 通期連結業績予想の修正等(平成 19 年 4 月 1 日～平成 20 年 3 月 31 日)

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回予想(A)	9,400	810	860	400
今回修正(B)	8,700	710	770	240
増減額(B-A)	700	100	90	160
増減率	7.4%	12.3%	10.5%	40.0%
[参考]前期実績 (平成 19 年 3 月期)	9,449	523	663	791

#### 2. 平成 20 年 3 月期 通期個別業績予想の修正等(平成 19 年 4 月 1 日～平成 20 年 3 月 31 日)

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回予想(A)	3,670	400	280	200
今回修正(B)	3,430	240	80	370
増減額(B-A)	240	160	200	170
増減率	6.5%	-	-	-
[参考]前期実績 (平成 19 年 3 月期)	4,468	376	150	1,682

#### 3. 修正理由

**【売上高】**

アート関連事業において、新規顧客の開拓に主眼をおいた営業活動に注力したことによる成約率の低下等が見られた事、また、リゾート事業においては料飲部門やセラピー部門の利用率が低下するなど、厳しい状況が今後も継続すると判断し、連結・個別売上とも当初予想を下回る見通しであります。

**【営業利益】**

売上の減収に合わせて販売促進費、会場費の削減や、事業所閉鎖による固定費圧縮に努める事により、連結では100百万円減の710百万円、個別では160百万円増の240百万円となる見通しであります。

**【当期純利益】**

当中間期において投資有価証券評価損64百万円を特別損失に計上する事等により、前回の業績予想に対し、連結で160百万円減の240百万円、個別では投資有価証券評価損の他、関係会社に対する貸倒引当金繰入額240百万円を計上した事等により、170百万円減の370百万円となる見通しであります。

なお、中間業績予想の修正（連結・個別）につきましては、平成19年11月13日にお知らせしております。

（注）上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は業況の変化等により上記予想数値と異なる場合があります。

以 上